

KA教育3D主催 『第3回情報交換会』開催レポート

ダイジェスト版

約 50 名の参加者のもと開催された「第 3 回情報交換会」

各学校における 3D 教育プログラムの活用状況が報告された

去る 6 月 10 日（土）、東京都文京区にある文京シビックセンターにて KA 教育 3D 主催「第 3 回情報交換会」が開催された。会場には学校教育の現場に携わる教員の他、企業経営者の顔も見られ、50 名ほどの参加者となった。会の進行は(株)KA 教育／教育サービス本部長の菊地マリ子氏の司会で進められ、第一部を研究会、第二部を懇親会として開催された。



第3回情報交換会の会場となった
東京都内にある文京シビックセンター



情報交換会の冒頭に挨拶に立つKA教育3D研究会会長の片倉敦先生(順天中学高等学校副教頭)

一部の研究会では、KA 教育 3D 会長の片倉敦先生(順天中学高等学校副教頭)の挨拶に続き、経済ジャーナリスト上妻英夫氏による講演が行われた。その後、片倉敦氏の進行のもと、実践報告会が行われ、「各学校における 3D 教育プログラムの活用状況」をテーマとして、各参加者からそれぞれの学校における 3D 教育プログラムの導入状況及びグループコミュニケーションの状況報告が行われた。

「3D 教育プログラム」を開発している株式会社 KA 教育代表取締役／菊地淳氏は同会についてこう語っている。

「現在、「情報交換の場」というだけにとどまらず、「3D 教育プログラムを学習する場」という位置付けで、さまざまな学校の先生方に参加していただく中で、現場における取り組み方や問題点、新たな提案など多岐にわたるご意見をいただき、充実した情報交換会として開催しています。」

今回のような学校間による状況報告という横のつながり、情報交換の場が今後の更なる 3D 教育プログラムの導入状況の“質”を高めていこう。



会場には教員を中心に企業経営者
など約50名が参加

講演

現場から変えられる～教育の基本は現場以外にない～

講師：経済ジャーナリスト ^{こうづま}上妻英夫氏

◆ビジネスにも教育にも共通する現場から変革する必要性

講演を通し教育に携わる参加者にエールを送る

第一部の席上、経済ジャーナリストの上妻英夫氏による講演が行われた。「現場から変えられる～教育の基本は現場以外にない」との講演テーマのもと、同氏がこれまでに行ってきた成長企業への取材活動の中で見聞きしてきたビジネスの現場での成功のヒントや社員を率いる経営者の視点などの話を通して、教育の基本も生徒に直接触れる学校の現場こそが非常に重要であり、学校現場こそ変革の場所であるとの内容で講演が行われた。

話の中では、ビジネスの現場にある重要なポイントをいくつか指摘し、またそれらが教育の現場にも共通するものとして、教育に携わる会場の参加者へ提示された。そのポイントは●素早く学んで素早く変わる●原点に戻る／頭を使う●同じ事を教えるだけの人が必要ない時代に●変化に適応することが重要●現場を重視する、など。

その後、同氏が執筆している「社長のログセ経営哲学」の内容を紹介しながら、生徒へ向けた教員の言葉の影響は必ずあるとし、その重要性を訴えた。また、現場からの変革に成功した企業のケーススタディをいくつか紹介しながら、知恵を出しながら現場での変革に取り組んでいただきたいとのエールを送る内容となった。



ビジネスの話を通して、教育の世界でも現場から変革する必要性を訴える上妻氏



異業種の世界の話が参加者への刺激を与える



■講師プロフィール

1949年鹿児島県生まれ。法政大学卒業後、通信社の記者を経てフリージャーナリストとして新聞、週刊誌、月刊誌にビジネスマンの応援歌をテーマに幅広く執筆活動を続けている。主な著書は「販促作戦 106社 106の知恵」、「中古ビジネスなら絶対儲かる」、「無人販売戦略」など十数冊。現在、通信社 KI プレス代表。(株)KA 教育顧問。

実践報告

エゴグラムとグループコミュニケーションの実施状況

◆ 前回開催を上回る参加人数で盛大かつ有意義に開催された実践報告

各学校における状況や取り組み方など多岐に渡った報告が行われた

今回の情報交換会は 2 月に開催された前回は上回る参加人数となる中、参加した全学校からエゴグラムの実施状況やグループコミュニケーションの取り組みについての報告が行われた。

エゴグラム実施状況の報告では「当初は CP などローエゴの生徒が多かったが、3 年間行ってくる中、課題が明確化してきていずれも改善されてきている」（諏訪実業高等学校／滝沢一樹先生）、「先日、菊地さんに来ていただき、教員対象の分析報告会を行った。そこでようやく全体に浸透してきた感があり、分析報告会は非常に効果があった」（昭和第一高等学校／渡辺浩美先生）など各学校での取り組み方、状況、成果と多岐に渡った報告がなされた。



また、グループコミュニケーションの取り組みについては「今、進路指導を担当しているが、目先の受験だけでなく、その先の大きな意味での進路指導にもグループコミュニケーションは非常に有効だと思う」（東洋高等学校／市川良幸先生）、「進路に敏感な状況もあり、2、3 年については CP、A、AC の課題ばかりを行うようにな

っている。ただし、他の学年はバランスよく菊地さんとも相談しながら進めている」
 (京華中学高等学校／樋口 元先生) などの他、多数の意見が寄せられた。

京華中学高等学校の樋口先生は今回の情報交換会を終え、また今後の開催について報告会の最後にこう語った。「今回の上妻先生の講演もそうですし、先生方からさまざまないただいた発言も勉強になったと同時に、皆さんも同じようにそれぞれ苦労されながら取り組まれているという事が心の支えにもなるかと思えます。今後も KA 教育の菊地さんを中心にこのような情報交換が蜜にできればと思います」



報告会で報告を行った参加者

- | | |
|------------------|--------|
| ■ 諏訪実業高等学校 | 滝沢一樹先生 |
| ■ 城西大学附属城西中学高等学校 | 後藤 豊先生 |
| ■ 東洋高等学校 | 市川良幸先生 |
| ■ 立正中学高等学校 | 石井公一先生 |
| ■ 京華中学高等学校 | 樋口 元先生 |
| ■ 昭和第一高等学校 | 渡辺浩美先生 |
| ■ 昭和第一高等学校 | 戸田修靖先生 |
| ■ 青稜中学高等学校 | 田村浩己先生 |
| ■ 自由ヶ丘学園高等学校 | 笠間陽弘先生 |
| ■ 自由ヶ丘学園 高等学校 | 端山淳子先生 |
| ■ 駒場学園高等学校 | 鴫田克彦先生 |
| ■ 東京経営短大村田女子高等学校 | 小林隆司先生 |
| ■ トキワ松学園中学高等学校 | 中山正秀先生 |

懇親会



第 1 部の研究会の終了後、会場を移して懇親会が行われ、大勢の出席者のもと、参加者同士の交流を深められ、リラックスした雰囲気の中、自己紹介や各学校の現場での状況など、様々な情報交換の場となりました。終了後に参加者全員で記念撮影を行ないました。



**出
来
る
・
大
丈
夫
・
大
成
功**

**KA教育3D研究会
2006. 6.10 KA教育3D第3回情報交換会**

**株式会社KA教育
〒173-0012
東京都板橋区大和町12-12
03-6784-7675**